

～釜石市の未来を共に創造する～

釜石
市民ワーキンググループ
(第3回)

2015年 8月23日 (日)

釜石大槌地域産業育成センター

チェックイン

「今の正直な気持ち」や
「気になっていること」などを
ありのままにお話しください。



チェックインのルール

□順番を決めないで、話したいと思った人から始めます

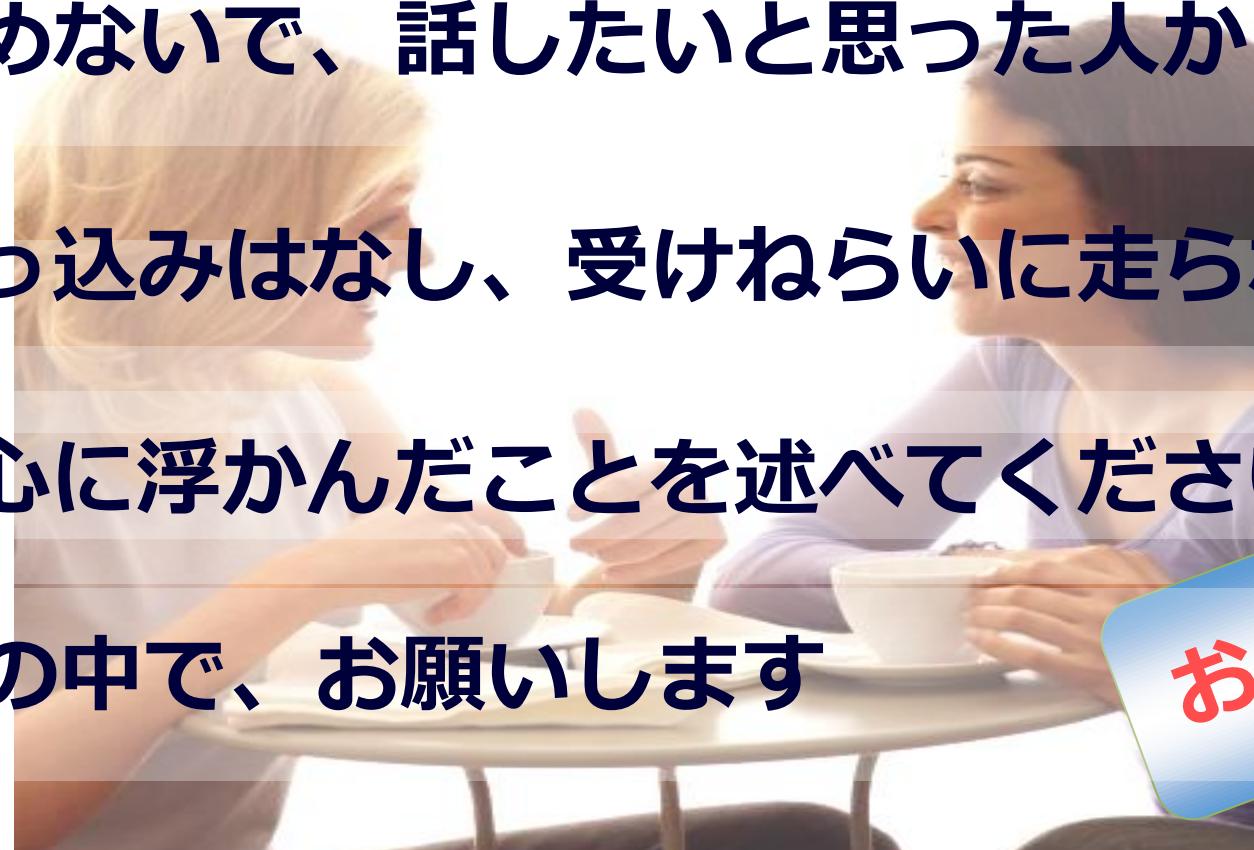
□質問や突っ込みはなし、受けねらいに走らない

□素直に、心に浮かんだことを述べてください

□拍手は心の中で、お願いします

お一人1分程度で

終わったら、両手を挙げて周りに知らせてください



アイスブレイク

キーワード絵コンテリレー

～釜石市の未来を共に創造する～

釜石市民ワーキンググループ

オープニング

～13：40

市民WGの位置づけ

1. 釜石の「総合戦略」策定において、市民目線からの問題点の洗い出しと打ち手アイディアを市策定委員会に提言する組織
2. 市民WGを通して、志の高い市民と若手職員との間で協働の機運を醸成していく場

市民WGの進め方

第1回 7/20 (13:00~16:30)

…25年後の釜石のありたい姿を共有し、チームを構成する

第2回 8/1 (9:30~13:00)

…ありたい姿を実現するために、やるべきこと（打ち手）を洗い出す

第3回 8/23 (13:00~16:30)

…「釜石らしさ」を探求し、戦略＆打ち手に魂を吹き込む

第4回 9/26 or 27

…「人口ビジョン」「総合戦略」原案に関する意見交換

第1回の振り返り

第1回 (7/20)

チェックイン

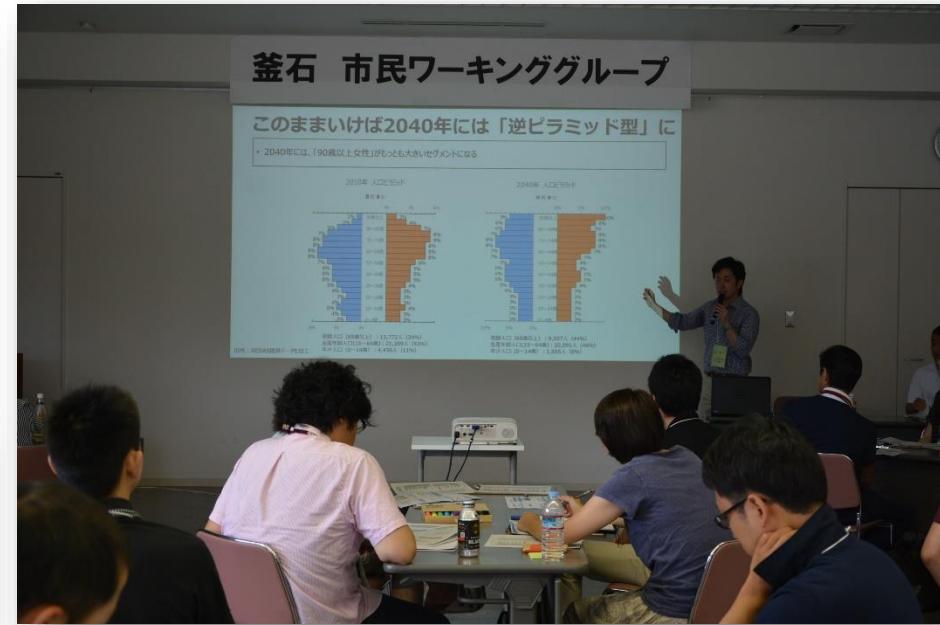
オープニング

25年後の釜石のありたい姿



共有（全体）

チェックアウト



第1回の振り返り

第1回 (7/20)

チェックイン

オープニング

インタビュー（ペア）

25年後の釜石のありたい姿

ホストツイ

共有

チェックアウト



第1回の振り返り

第1回 (7/20)

25年後の釜石のありたい姿

チェック

オープ

インタ

ポストイット (グループ)

共有 (全体)

チェックアウト



第1回の振り返り

第1回 (7/20)

チェックイン



25年後の釜石のありたい姿

共有（全体）

チェックアウト



第1回の振り返り

第1回 (7/20)

チェックイン

オープニング

25年後の釜石のありたい姿

インタビュー（ペア）

ホストイット（グループ）

共有（全体）

チェックアウト

「しごと①」



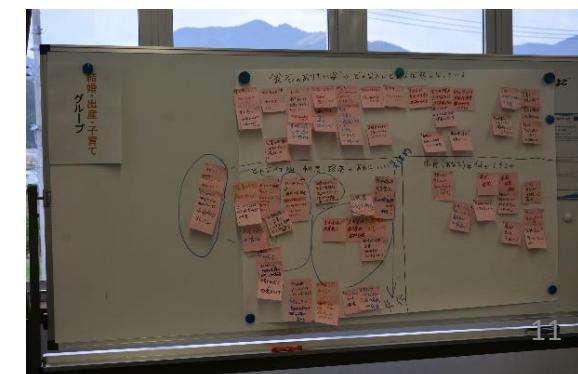
「教育」



「移住促進」



「結婚・出産・子育て」



第2回の振り返り

第1回 (7/20)



ありたい姿

共有（全体）

チェックアウト

第2回 (8/1)

チェックイン

オープニング

打ち手の洗い出し

ありたい姿グルーピング

仕組・制度・環

具現化案

共有（全員）

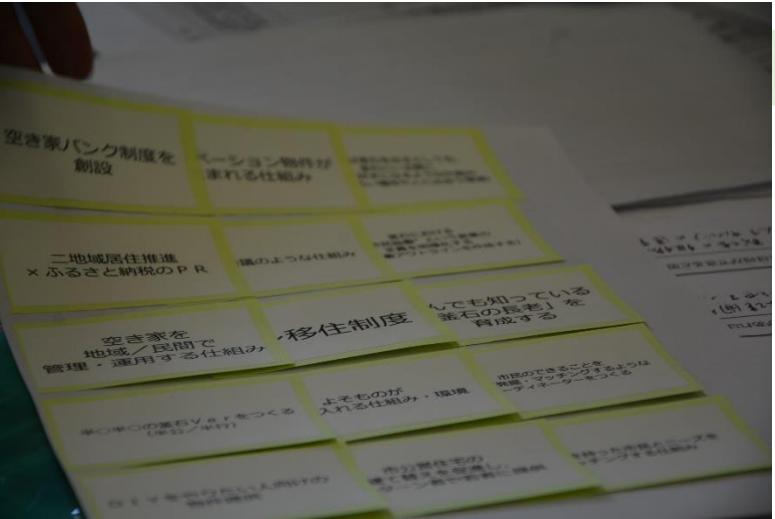
チェックアウト

第3回

本日 (8/23)



第2回の振り返り



第2回 (8/1)

チェックイン

オープニング

打ち手の洗い出し

ありたい姿グルーピング

仕組・制度・環境の選択

具現化案の創出

共有（全体）

チェックアウト

第3回



第2回の振り返り



打ち手の洗い出し

第2回 (8/1)

チェックイン

オープニング

ありたい姿グルーピング

仕組・制度・環境の選択

具現化案の創出

共有（全体）

チェックアウト

第3回

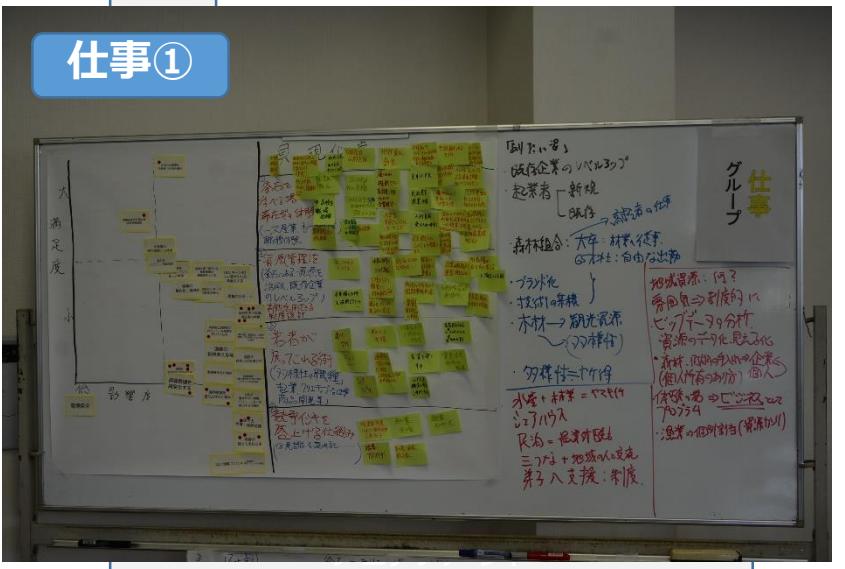


第2回の振り返り

仕事②



仕事①



第2回 (8/1)

移住促進



の洗い出し

具現化案の創出

共有 (全体)

チェックアウト

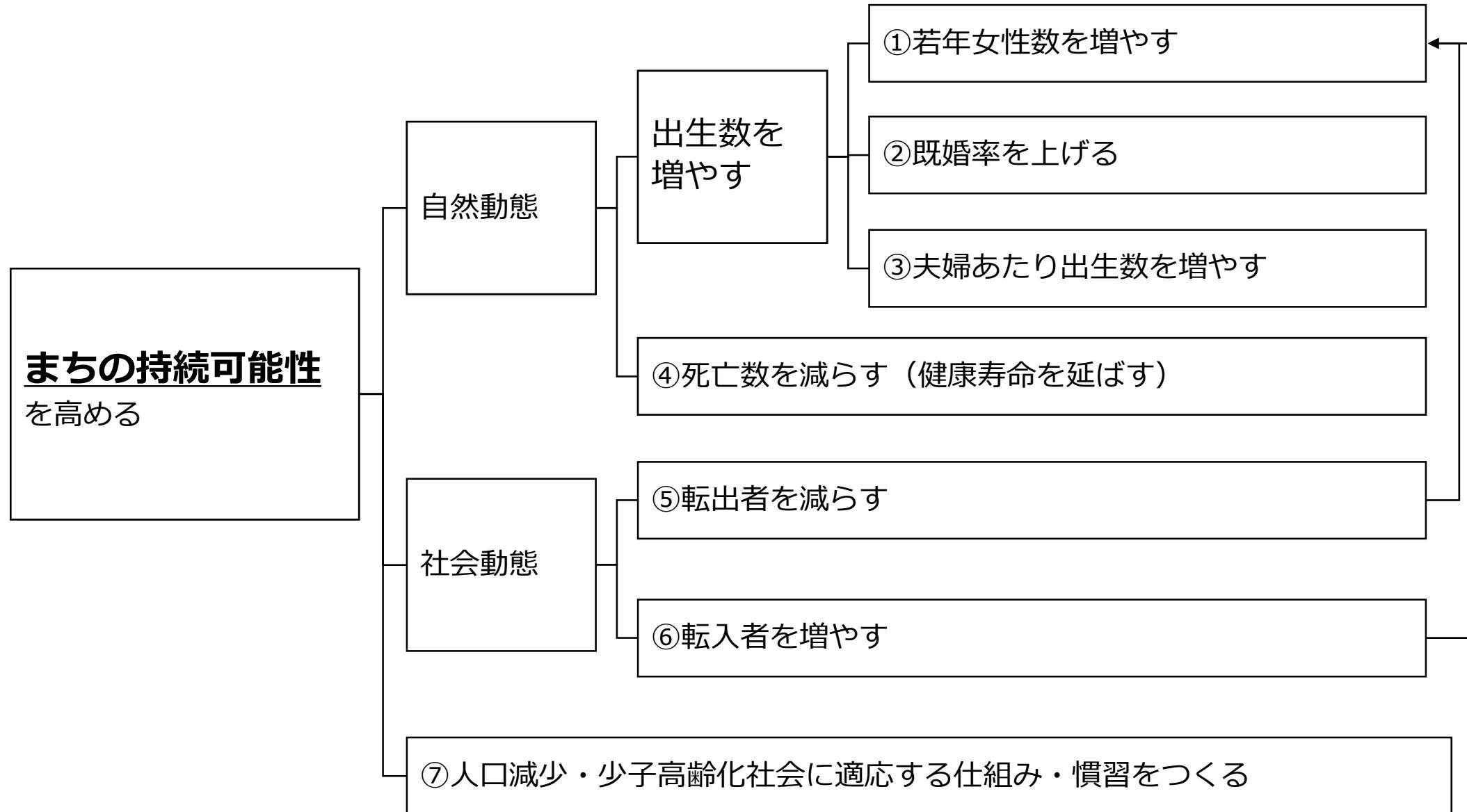
教育



結婚出産子育て



施策を考える上での基本的な考え方



これまでに挙げられた仕組・制度・環境アイデア

別紙参照

戦略の方向性（現状理解・抜粋）

①

“まちの人事部”機能の構築

- 釜石ファンのプラットフォーム化(移住/観光/ふるさと納税など)
- 潜在求人ニーズの掘り起し(ハローワークに出てこない求人/求める人材の明確化/情報共有の仕組み)
- お試し移住・就業・インターンシップ・弟子入り制度の構築
- “半○半○”というライフスタイルの提案(一次産業の担い手確保＆育成/公共領域)
- 複数企業合同による人材育成プログラム開発・実施の推奨
- 移住者と地域コミュニティの融合(「釜石〇〇会議」/移住者交流会)
- 女性・高齢者等が柔軟に働ける仕組み(ワークシェアリング)
- “開かれたまち”というブランドの確立(“オープンシティ釜石”)

②

多様な小さなビジネスが
生まれる土壌づくり

- 遊休不動産・空き家の利活用/リノベーション促進(空き家バンク/コワーキングスペース/交流・滞在拠点)
- 「人材育成道場」や「釜援隊」などを通じた、0から1を生み出す起業プラットフォームの構築(市サポート含め)
- 大学・産業界と連携した教育機関の誘致・研究＆商品開発・ケーススタディ開発の促進
- 市外におけるファンコミュニティのテストマーケティング活用
- 学生・社会人がビジネスや教養を学べる環境づくり
- グローバルな交流機会の創出(ホームステイ留学/和の提供など)

③

自然な出会いの創出と社会で
子どもを産み育てる環境整備

- 広域連携による出会いの場の創出
- 安心して結婚・子育てができる住環境の整備
- 待機児童の解消(保育師・保育施設確保/保育時間/ベビーシッター制度活用)
- 多様な働き方を認め、子育て支援の充実を図る企業・団体へのインセンティブ付与(WLB実現/育ボス/ロールモデル形成/No残業Day)

④

釜石らしい誇りの創出

- 高校生向けの地域資源を生かしたキャリア構築支援(地元企業との接続/自己決定)
- 世界遺産やラグビーWCなどを通じたまちの誇りづくり
- 地域の鉄人・釜石の長老の発掘＆マッチング
- 同窓会コミュニティの構築・活性化(第二成人式など)

市民WGを踏まえた 当市における地方創生交付金の申請概要

事業名	事業概要	事業費	担当課
ソーシャルキャピタルを生かした、まちのオープンシティ化促進事業	<p>震災から5年を迎える中で、全国各地から当市を訪れた多数のボランティアや地元出身者をはじめとする、釜石市の関係人口（釜石人）のデータベース化を図り、ダイレクトメール等により当市からの感謝を伝えるとともに、釜石の復興状況や魅力を発信するイベントを実施し、釜石ファンコミュニティの形成を図り、U I ターンや観光交流の促進に繋げようとするもの。</p> <p>【内容】ボランティア等のデータベース化、記念イベント開催、移住促進PRツール制作 等 【KPI】記念イベント参加者数：1,000人、市外におけるアクティブファンコミュニティ参画者数(メーリングリスト又はデータベースなど)：500人</p>	4,000	総合政策課 復興推進本部 事務局
自ら学び、自ら選択する高校生のキャリア構築支援事業	<p>釜石の高校生に対し、キャリア教育支援を県外企業、域内企業、N P O、大学などと連携して行い、高校卒業までに自身のキャリア意識を高めることで、①主体的に学ぶ意識の醸成 ②キャリア選択の満足度向上 ③学力向上 を目指すとともに、郷土愛や起業家精神を醸成する郷育プログラムを展開し、釜石の将来を担う人材育成を図ろうとするもの。</p> <p>【内容】講師招聘経費、運営費 等 【KPI】キャリア教育支援事業参加高校生数：述べ120人、参加高校生への事後アンケート評価：4.2以上（5段階） ※教員など関係者からもインタビューを実施</p>	500	総合政策課
遊休不動産を活用したリノベーションまちづくり事業	<p>市内にある現在使われていない公共施設をはじめとした遊休不動産を、地域活動を行うN P O等に貸与または売却し、地域活動の拠点として再利用することで地域生活を豊かにするとともに、かつ市が抱えるストックの利活用の課題解決を図ろうとするもの。</p> <p>【内容】物件調査・表示登記等費用、建物補修費用 等 【KPI】遊休不動産の活用件数（貸与又は売却など）：1件以上</p>	5,500	総合政策課

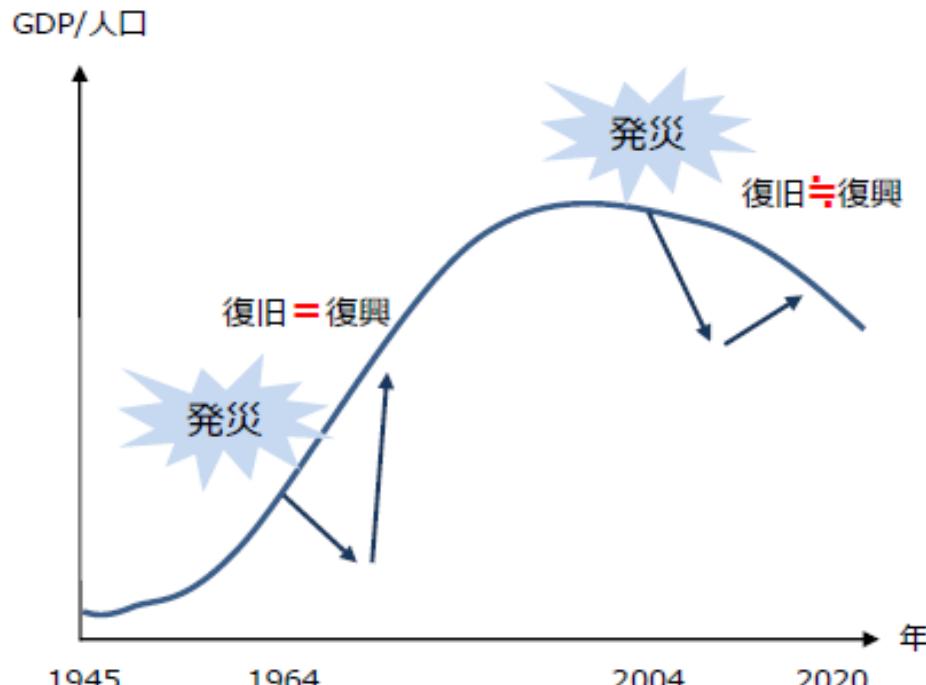
計10,000(千円)

中越地震(2004年)からの学び

経済が右肩上がりの時代と右肩下がりの時代では、「復興」の意味が異なる

復興活動に関わってきた者ほど、ハード復旧後に「復興」を実感する

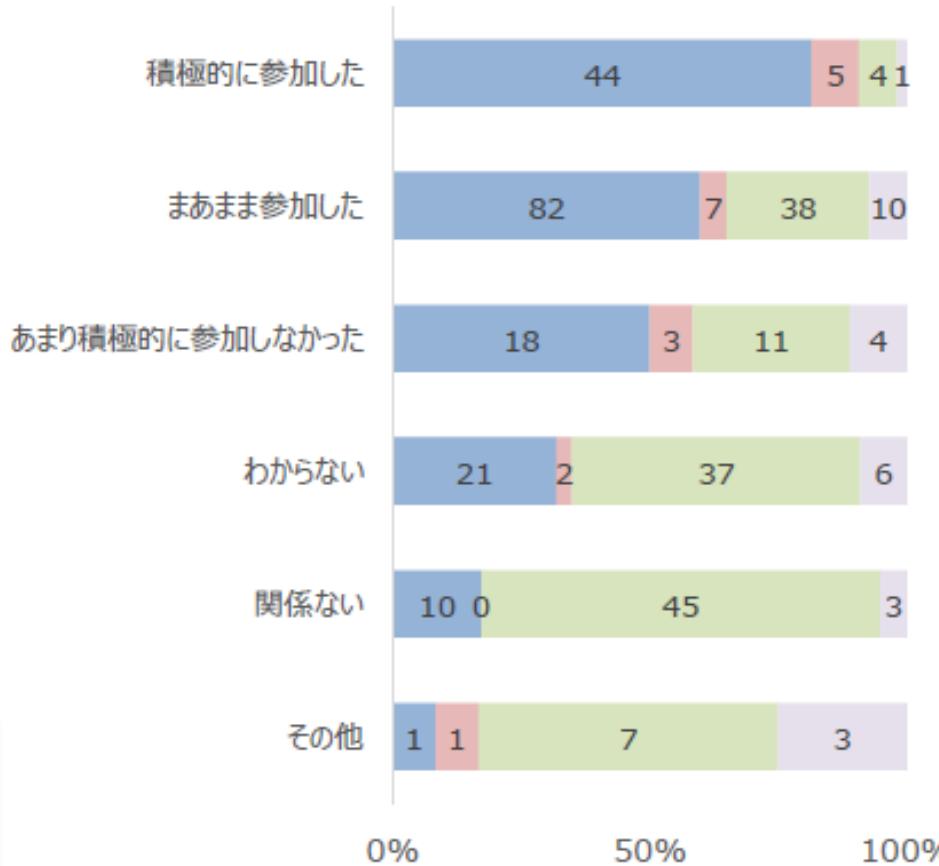
<イメージ図>



中越地震は“右肩下がりの時代の復興”を、日本ではじめて定義した震災

<アンケート調査2012年8月、復興プロセス研究会>

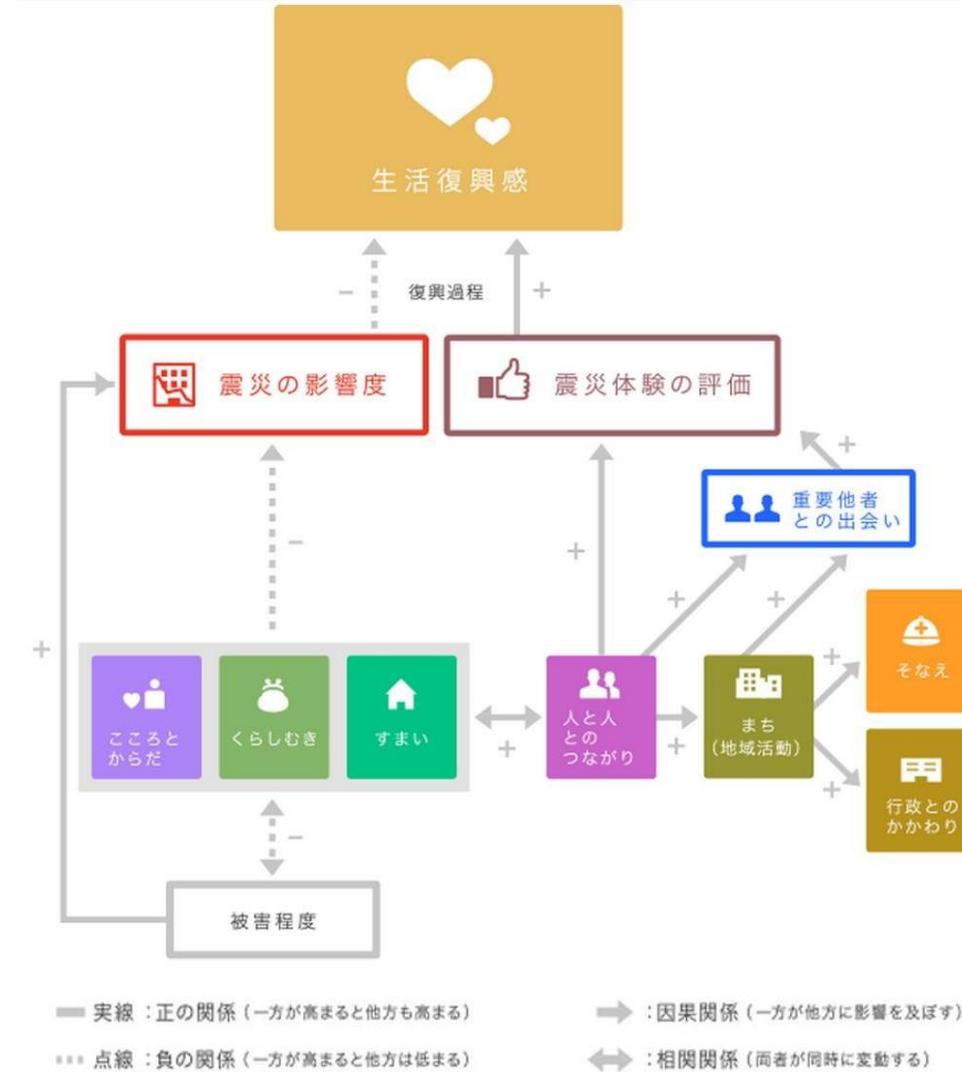
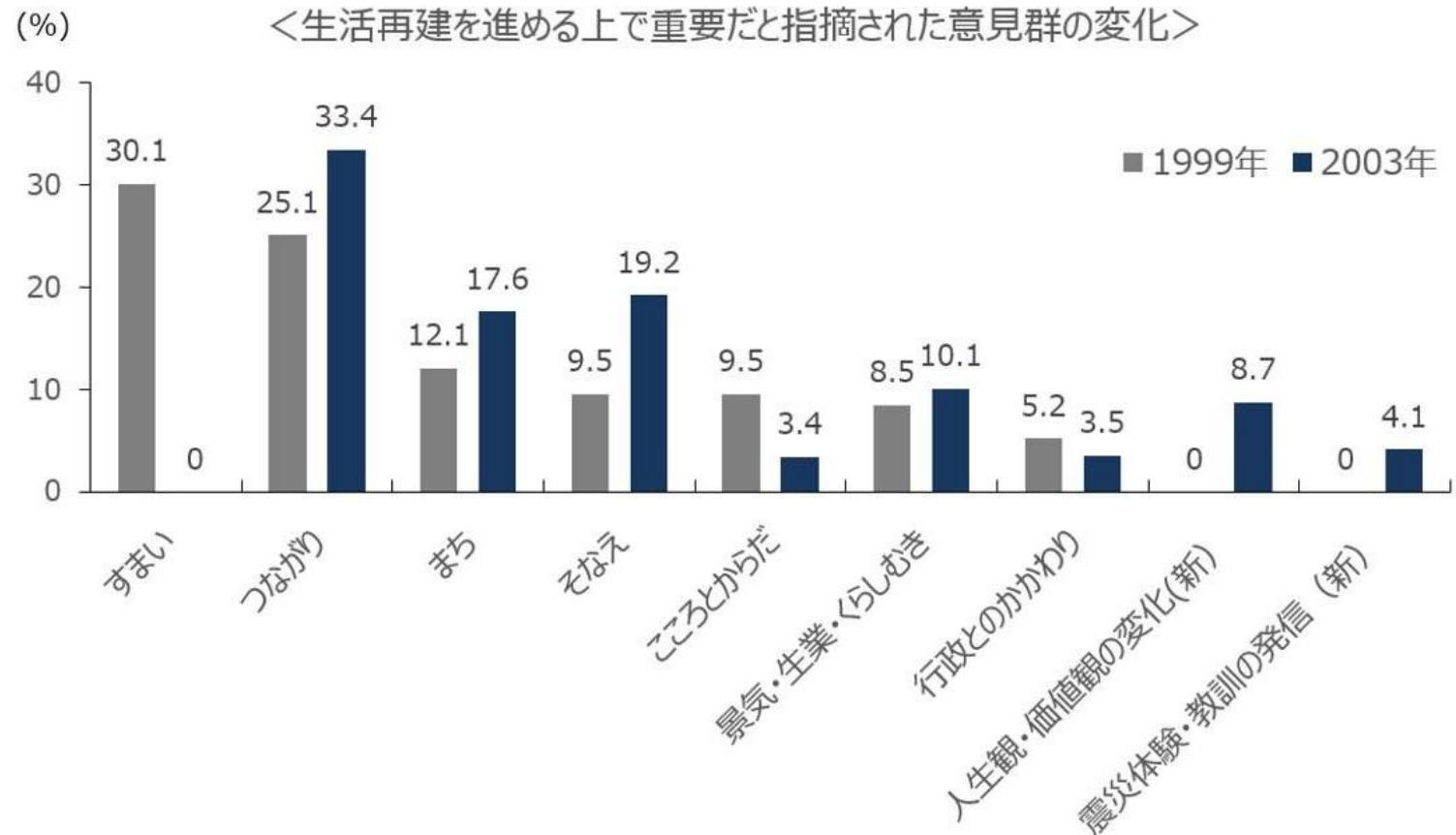
■ 復興したと感じる ■ 復興したと感じない ■ 関係ない ■ 非回答



阪神・淡路大震災(1995年)からの学び

ハード復旧後に、“復興した”と感じられるために必要な要素の中で
もっと重要なのは「つながり」

「重要他者との出会い」が「震災体験の評価」を未来志向にする



希望学からの学び

希望を構成する4つの要素

“Hope is Wish for Something to Come True by Action” である

- **Wish「気持ち」「思い」「願い」**：オリンピックやワールドカップなどのスポーツで、決戦を前にした選手がよくこんなことを言います。「こうなったら、もう技術がどうのこうのということじゃない。最後は気持ちの問題。気持ちで勝つか、負けるかです」。この「気持ち」というのが、希望にはまず必要です
- **Something あなたによって大切な「何か」**：将来、こうありたい、あんなってほしいという、何か具体的なことがある。その何かが、世界平和という人もいれば、毎日三回ご飯が食べられることという人もいる。でも、希望に大きいも小さいもない。重要なのは、何とかしたいという自分にとっての大切な「何か」を見定めることです。何でもいいから、なんとかなってほしいということは、だいたい何ともなりません
- **Come true「実現」**：どうすれば、実現する方向に近づいていくのか。そのための道すじとか、踏むべき段取りを考えることです。たとえ実現がむずかしかったとしても、近づくことはできる。どうすれば望みがかなえられる可能性が高まるか。学習したり、情報を集めたりすることも大切です
- **Action「行動」**：どんなに目標を定めて、すばらしい作戦を立てたとしても、そのための行動をしなければ、希望をかなえることはできません。行動を起こすことは、ときに勇気が必要だったり、不安や苦しいこともあります。でも行動を起こさない限り、状況を変えることはできないんです

希望の再生に必要なこと

ローカル・アイデンティティ
(地域の個性) の再構築

地域内外でのネットワーク形成

希望の共有

釜石“らしさ”とは？

- ・ 戦略コンセプトにおいては釜石に対する社会的認知と私たちの意思が重要(戦略≒差別化)
- ・ これまでの歴史 & 復興プロセスを通じて、釜石を訪れる人も、釜石という地域も互いに育ちあうという “開かれたまち” というブランドが確立されつつある
- ・ 人を誘致し、地域内外の交流によって様々なチャレンジが創発され、地域の誇りが再認識されていく過程は中越地震や阪神・淡路大震災からの経験則であり、釜石において実際に起きている現象（釜石の強み）
- ・ 一方で、「自立」「独立」「開拓といったキーワードが弱い」という声も
- ・ 地域に対する愛着 & 誇りと、その地域に住みたいと考える割合には明確な相関関係があり、釜石らしい希望（新しいモノサシ）を生み育て、“このまちには何もない”というあきらめ感を打破したい

本当の意味で“開かれたまち”とは？ 一人ひとりに小さな火を灯すには？

～釜石市の未来を共に創造する～

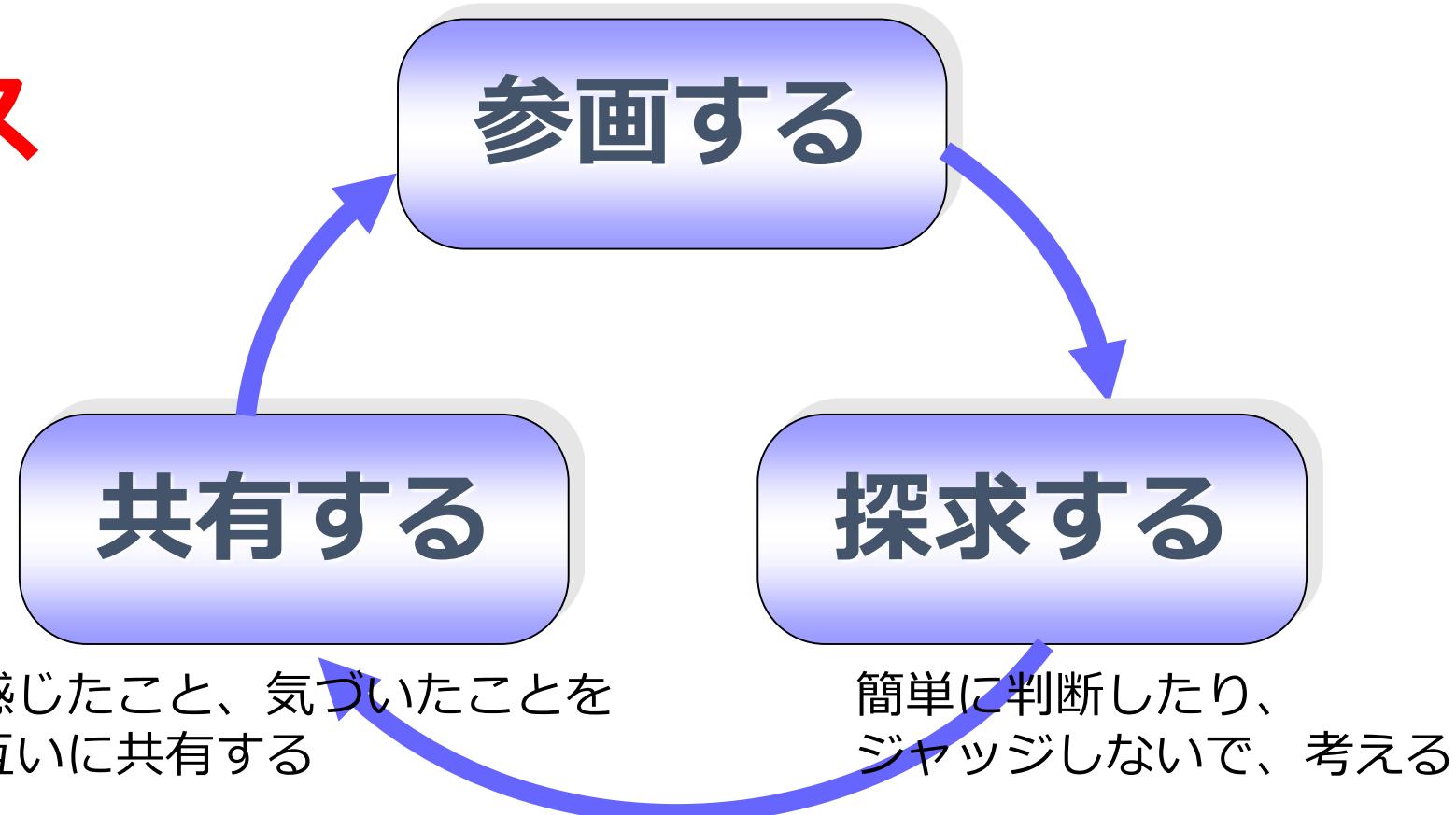
釜石市民ワーキンググループ

釜石“らしさ”探求

13：40～15：00（80分）

本日のワークの進め方①

本日のワークの スタンス



本日のワークの進め方②

本日のワークのルール

①対等で自由な立場で参加する

肩書きや権威を持ち出さない

②自分の考えにこだわらない

断定的な言い方をしない

③自分の考え方や背景をオープンにする

思っていることを率直に述べる

④人の意見の背景を理解しようとする

相手の話の善し悪しをジャッジするように聞くのではなく、探究する姿勢で聞く

本日のワークの進め方③

決めつけない、否定しない、遠慮しない、
思いを巡らせる、話してみる、聴いてみる

今日は、いつものM t gと
一味違う時間を過ごしましょう

それでは本日のワークを
始めていきます

まず、最初に

前回までのワークの 簡単な振り返り

“ありたい姿”インタビュー & 語り直し

- ・釜石の25年後の“ありたい姿”の共有
- ・“ありたい姿”へ向けた取組テーマの抽出
をインタビューの後、語り直し⇒ポストイットにメモ

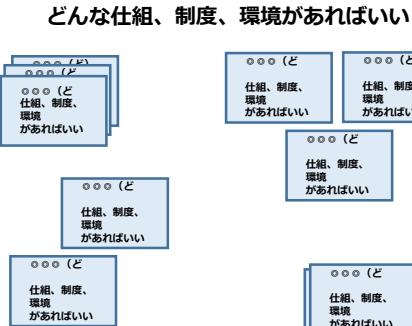


【仕組、制度、環境】のグルーピング＆重みづけ

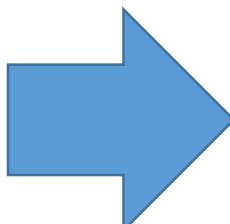
【仕組、制度、環境】のポストイットを“グルーピング”

その上で特に大切、これはやった方がいいと思ったものに
1人3つまでシールを張って“重みづけ”

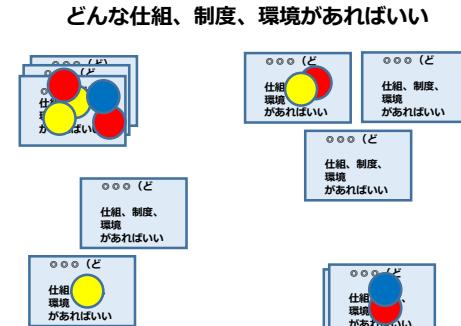
釜石の“ありたい姿”⇒どんな人がどんな状態になっている



市民（あなた）は何ができるか



釜石の“ありたい姿”⇒どんな人がどんな状態になっている

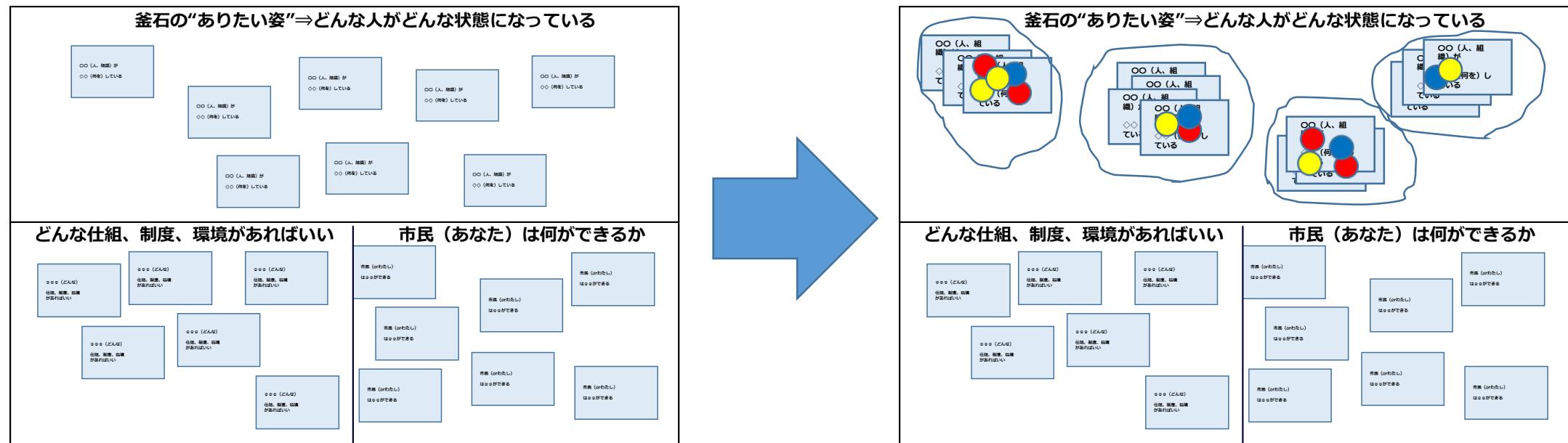


市民（あなた）は何ができるか

【ありたい姿】のグルーピング&重みづけ

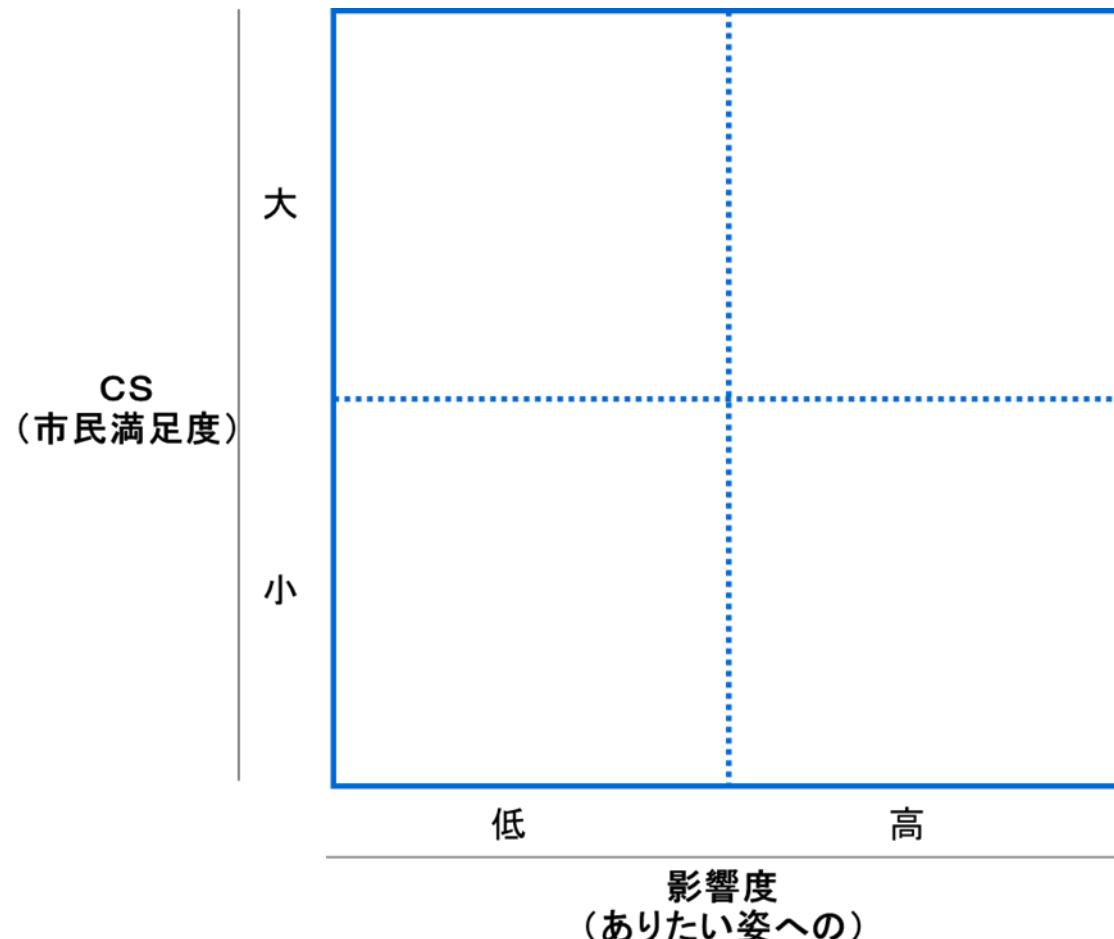
【ありたい姿】のポストイットを“グルーピング”

その上で特に大切、これはやった方がいいと思ったものに
1人3つまでシールを張って“重みづけ”



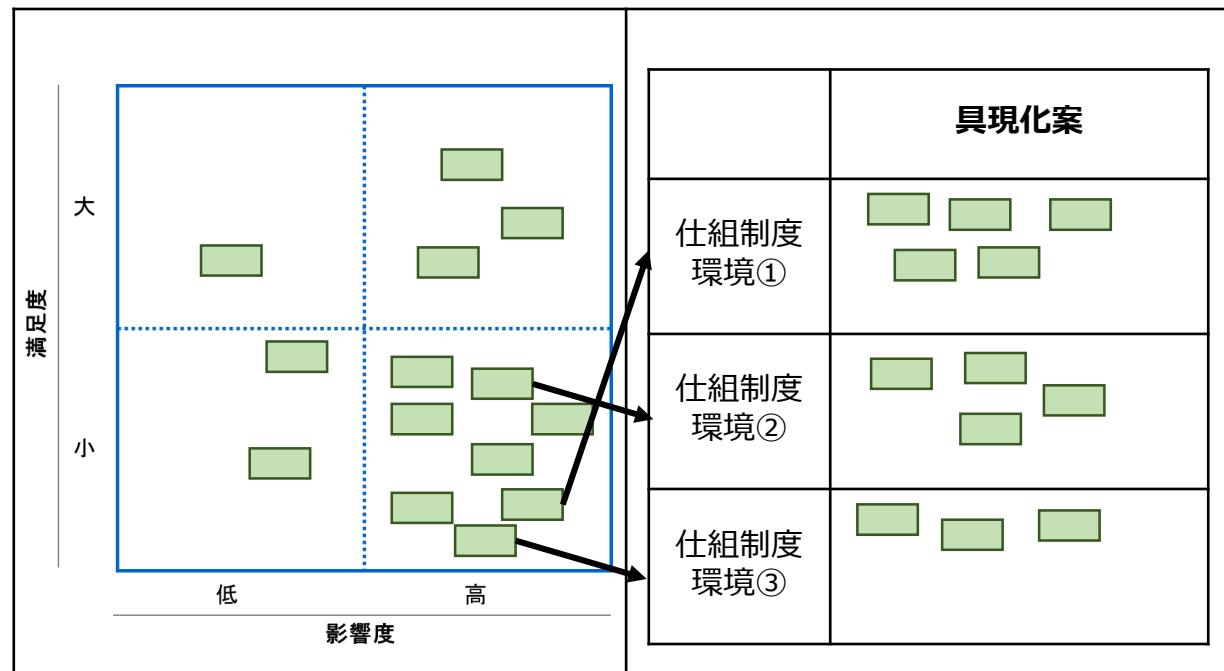
【仕組・制度・環境】のポジショニング＆絞込み

【仕組・制度・環境】を「市民満足度×影響度」のマトリクスでポジショニングした上、3つまでに絞り込み



【具現化案】の創出

選んだ【仕組・制度・環境】に対してどんな【具現化案】(進め方や次の一手) があるかを
ポストイットに書いて共有



これまでのワークを元に
見えてきた
戦略の方向性

戦略の方向性（再掲）

①

“まちの人事部”機能の構築

②

多様な小さなビジネスが
生まれる土壤づくり

③

自然な出会いの創出と社会で
子どもを産み育てる環境整備

④

釜石らしい誇りの創出

1. 釜石ファンのプラットフォーム化(移住/観光/ふるさと納税など)
2. 潜在求人ニーズの掘り起し(ハローワークに出てこない求人/求める人材の明確化/情報共有の仕組み)
3. お試し移住・就業・インターンシップ・弟子入り制度の構築
4. “半○半○”というライフスタイルの提案(一次産業の担い手確保＆育成/公共領域)
5. 複数企業合同による人材育成プログラム開発・実施の推奨
6. 移住者と地域コミュニティの融合(「釜石〇〇会議」/移住者交流会)
7. 女性・高齢者等が柔軟に働ける仕組み(ワークシェアリング)
8. “開かれたまち”というブランドの確立(“オープンシティ釜石”)

9. 遊休不動産・空き家の利活用/リノベーション促進(空き家バンク/コワーキングスペース/交流・滞在拠点)
10. 「人材育成道場」や「釜援隊」などを通じた、0から1を生み出す起業プラットフォームの構築(市サポート含め)
11. 大学・産業界と連携した教育機関の誘致・研究＆商品開発・ケーススタディ開発の促進
12. 市外におけるファンコミュニティのテストマーケティング活用
13. 学生・社会人がビジネスや教養を学べる環境づくり
14. グローバルな交流機会の創出(ホームステイ留学/和の提供など)

15. 広域連携による出会いの場の創出
16. 安心して結婚・子育てができる住環境の整備
17. 待機児童の解消(保育師・保育施設確保/保育時間/ベビーシッター制度活用)
18. 多様な働き方を認め、子育て支援の充実を図る企業・団体へのインセンティブ付与(WLB実現/育ボス/ロールモデル形成/No残業Day)

19. 高校生向けの地域資源を生かしたキャリア構築支援(地元企業との接続/自己決定)
20. 世界遺産やラグビーWCなどを通じたまちの誇りづくり
21. 地域の鉄人・釜石の長老の発掘＆マッチング
22. 同窓会コミュニティの構築・活性化(第二成人式など)

最後に 1 つ付け加え

戦略&打ち手に

魂を吹き込みたい点

釜石“らしさ”

**他のどこでもない
釜石がこの土地の歴史の中で
培ってきた
釜石“らしさ”**

それを最後に加わることで

戦略＆打ち手に

魂を吹き込みたいと思います

【ワーク進め方】新チームの編成

◎各チーム2人づつテーブルにのこる人を決めてください
のこりの人は興味のあるチームのテーブルに移動します

※各チームのテーブル（仕事、移住促進、教育、結婚・出産・子育て）の
人数がバラバラで構いません

※ただし各チーム1名は仕事、移住促進、教育、結婚・出産・子育ての前回の
メンバーが入るようにしてください

【ワーク進め方】前回までのワークの共有

- ◎各テーブル、創生室メンバー（ファシリテーター）から前回までチームで話し合ったことを共有してください
 - ・【ありたい姿】が、どうグループинг、重みづけされ
 - ・【仕組・制度・環境】が、どうポジショニング、絞り込まれ
 - ・どんな【具体化案】がでて、どのような議論になったか
- ◎別テーブルから来た人は前回までのワーク共有を受け「感じたこと」「思ったこと」「質問」を共有してください

率直な“対話”を通して、テーマを超えた【仕組・制度・環境】の有無や、そのつながりの有無を深めていきましょう

【ワーク進め方】 釜石“らしさ”の探求

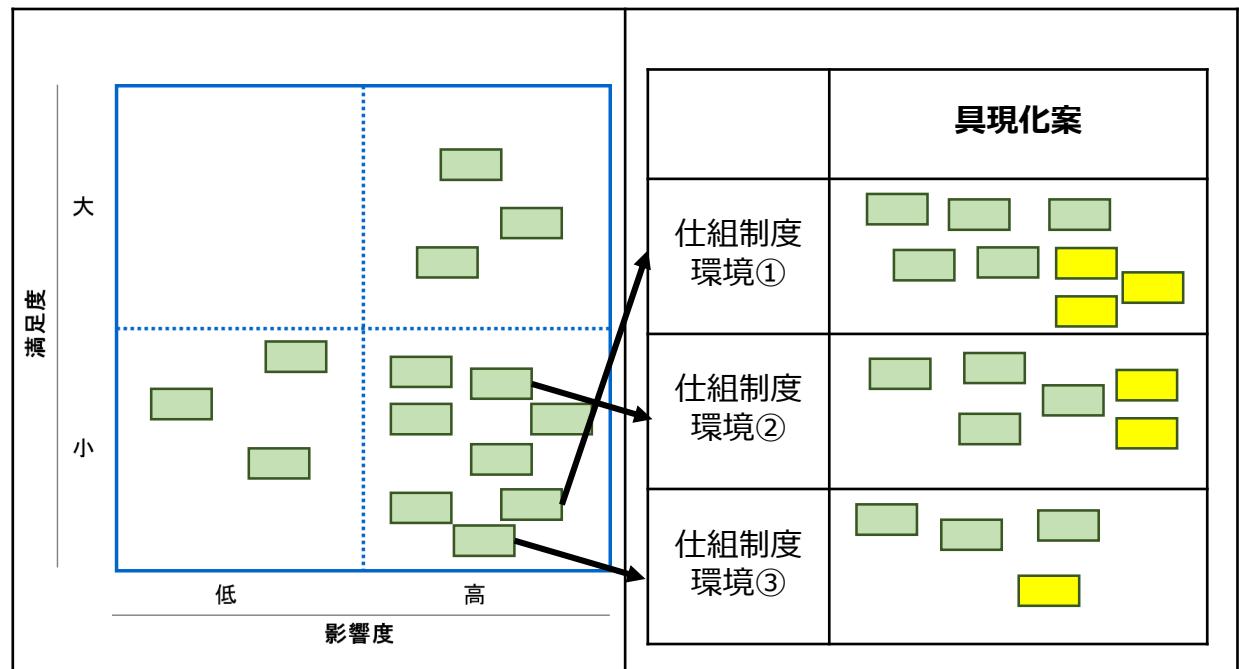
- ◎各テーブルで、釜石がこの土地の歴史の中で培ってきた
釜石“らしさ”とは何か？を探求していきます
(鉄鉱石発見、艦砲射撃、津波、震災、ラグビーV7、虎舞、新日鐵、よいさetc から)
- ◎対話から出てきた釜石“らしさ”をメモしておいてください
(この後のワークで活用します)

本日のワークのルール

- ①対等で自由な立場で参加する
肩書きや権威を持ち出さない
- ②自分の考えにこだわらない
断定的な言い方をしない
- ③自分の考え方や背景をオープンにする
思っていることを率直に述べる
- ④人の意見の背景を理解しようとする
相手の話の善し悪しをジャッジするよう
に聞くのではなく、探究する姿勢で聴く

【具現化案】の整理、創出

前回創出された、具現化案（進め方や次の一手）に対し
釜石“らしさ”的有無、何が釜石“らしさ”か？も含め整理
新しいチームで、新たな観点での具現化案をポストイット
に書いて共有



～釜石市の未来を共に創造する～

釜石市民ワーキンググループ

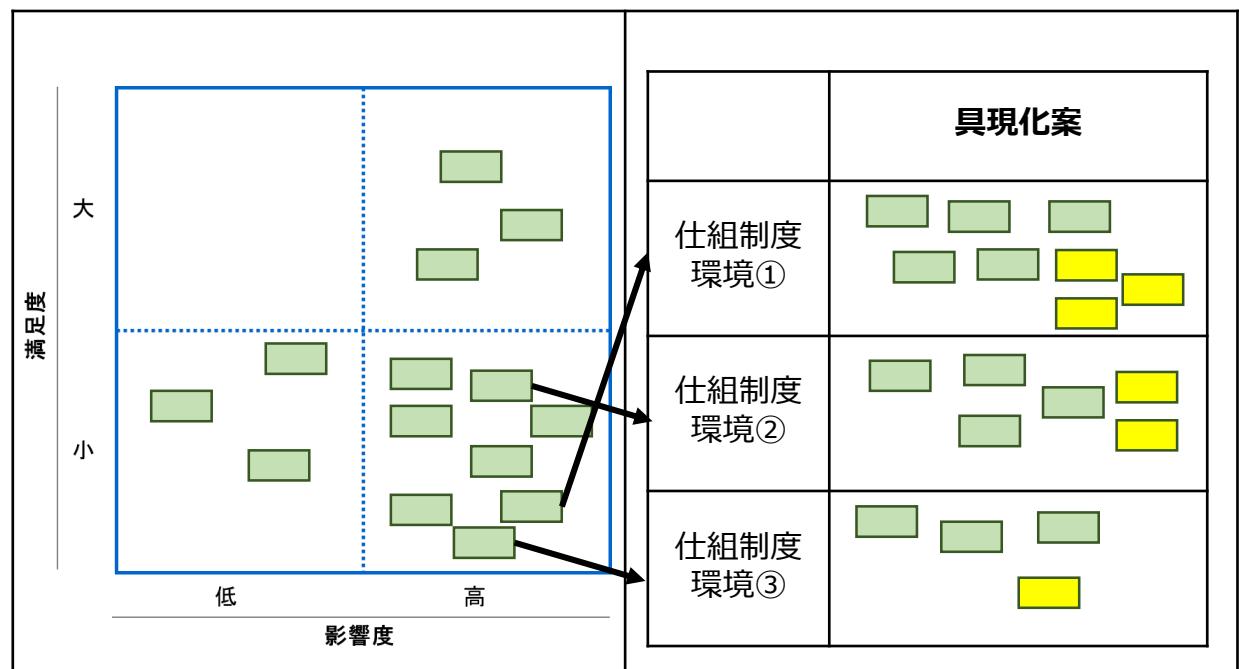
休憩

15：00～15：10（10分）

【具現化案】の全体共有

釜石“らしさ”を踏まえて選んだ、仕組・制度・環境に対し
どんな具体化案がでたか、チーム内の会話なども含め共有
各チーム10分（共有5分 + 意見交換5分）

※釜石“らしさ”をどう考えたか？
その上でどのような
釜石“らしい”【具現化案】が
でてきたか？
を共有



～釜石市の未来を共に創造する～

釜石市民ワーキンググループ

クロージング

16：10～16：30（20分）

事務連絡

- ・お配りしたアンケートにご協力をお願いします。

【次回日程】 9月26日 13:00～16:30

釜石・大槌地域産業育成センター

チェックアウト

「釜石市民ワーキンググループ」を終えた
「いまの率直な気持ち・想い」をお話しください

